Course number		U-LAS70 10001 SJ50										
Course title (and course title in English)	III.ASレミナー . タキニーニ≔				of na	ame	uctor's , job title, lepartment iliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, AOYAMA TAKUO				
Group	Semina	ars in Liberal Arts and Sciences				mbe	er of credits	2 Number weekly time blo			1	
Class style seminar (Face-to-face course))	Year/semeste		s	2024 • First semest		r	Quota (Freshman)		10 (10)	
Target year	Mainly 1st year students Eligible st		ible stude	e students For all majors					ays and eriods Wed		1.5	
Classroom	Seminar room 21, ILAS Bldg.							ļ	Lar	nguage of Japanese		
Keyword	分析哲	哲学/科学哲学										

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

哲学と科学に興味があり、かつ、文章を読みながら「議論する」ことについて深く学びたい学生に向けて、ディスカッション中心の授業を行ないます(単位取得には積極的な発言が必要です)。 教員の準備した文献(科学哲学や分析哲学に関わる文献を中心に選定)をクラス全体で精読する ほか、各回の担当者を選定し、担当者による司会進行のもとで、ディスカッションを実施します。 過去に使用した文献としては、森田邦久著『科学哲学講義』からの抜粋など。

[Course objectives]

配布した資料の読解を通じて文章精読の技術を学ぶとともに、哲学的・科学的観点から新たな知見を獲得する。

[Course schedule and contents)]

第1回:授業についてのガイダンスを行ない、履修希望者多数の場合は、ゼミナール形式である ことをふまえ受講制限を行なう。

第2回:教員による司会進行と解説のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。

第3回~第14回:各回の担当者による司会進行のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。適宜、教員による解説を挟む。

第15回:フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

各回の授業におけるディスカッションへの参加度と、担当者としての発言内容をもとに、成績評価を行なう。(詳細は講義のガイダンスにて説明します。)

Continue to ILASセミナー : 科学論(2)

ILASセミナー : 科学論(2)
[Textbooks]
Not used
必要に応じて、プリントを配布します。
[References, etc.]
(References, etc.)
Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
各回のディスカッション内容を振り返ることで、自分の担当回ではどのように司会進行を行なう かを考えておく。
[Other information (office hours, etc.)]
連絡方法等については教員のウェブサイトを参照してください。活発な議論への参加を期待しま
す。